

第 66 回 東海財界倶楽部例会

『因果 AI』を活用することで 意思決定時の説得力や納得感を高める

弊社主催の異業種交流会「東海財界倶楽部例会」が 10 月 28 日、名古屋市昭和区鶴舞の STATION Ai（ステーション・エーアイ）で開催された。今回第 66 回の例会は名南 M&A 株式会社との合同例会として講師に株式会社 hootfolio（フートフォリオ）CEO 笠原健太氏を迎え「因果 AI が意思決定を加速する～データに潜む因果関係をノーコードで可視化」というテーマで講演。

冒頭で STATION Ai の佐橋 CEO の挨拶の後、名南 M&A スタッフによる STATION Ai の施設見学会も実施された。



株式会社 hootfolio 笠原健太 CEO

祝 1 周年 STATION Ai

まず STATION Ai 株式会社 代表取締役社長



STATION Ai 株式会社 佐橋宏隆 CEO

兼 CEO 佐橋宏隆氏から挨拶があった。

「昨年 2024 年 10 月 31 日にオープンして今週末で 1 周年」を迎える事や「現在、会員が 600 社、共

業したい事業者が 400 社となり活動事例がどんどん増えている」ことを報告。また「1990 年代に起きた情報革命ではインターネット企業（Google、facebook など）が世界を牽引していたが、現在はそれよりも大きな AI 革命が起きていて、これからは AI カンパニーがリードする」という世界情勢の中、「製造業、精密機器に AI が実装されることが世界最大の産業となることが予想される。それは製造業の集積地である愛知が盛り上がることに繋がり、この地域の大企業だけではなく、中堅、中小企業が AI を導入して生産性を上げ、新たな製造業を創っていくことが STATION Ai のミッションであり、みなさんといっしょに支え合って行きたい」と今後の抱負を語った。

その後、スタッフによる STATION Ai 内施設の見学会が行われた。

1・2 階には 3D プリンターや測定器などが常設。2 階には『あいち創業館』がある。ここは愛知県にゆかりのある革新的な事業を興した起業家の業績やエピソードを映像やデジタル技術

を活用し、愛知の産業のルーツや、企業家たちの挑戦を学ぶことができる施設となっていたが、あいにく時間外だったため中は見学できなかった。4～5 階はオフィスフロアやラウンジがあり契約会員のワーキングスペースや勉強会などが行えるオープンスペースが配置されている。6 階はオフィス（会議室）。また 7 階には会員問わず利用できる宿泊施設やフィットネススペース、バーなども完備。同フロアの交流リビングからデッキに出るとすっかり秋となった冷気に身震いするほどであったが、思いがけず美しい夜景の眺めに感動。

名南 M&A、地域のスタートアップ企業に投資

メイン講演の前に今例会の合同主催社、名南 M&A 株式会社の事業戦略本部 事業戦略部キャピタリスト伊藤 将規氏から会社概要として名南 M&A の取り組み、自社の実績などの説明があった。



名南 M&A 株式会社
キャピタリスト 伊藤将規氏

名南 M&A では「この地域のスタートアップ起業に投資し貢献（2022 年から累計 23 社に投資）」しながら「地域の事業者、財界の皆様と連携してスタートアップを支援、相乗効果を生む、そんなことに取り組みたい」と述べた。

講演テーマ”因果 AI”

株式会社 hootfolio の笠原健太 CEO は NEC でエンジニアに従事していたときに「NEC X」というシリコンバレーの拠点で”因果 AI”

という技術に出会う。その後、事業開発とプロダクトオーナーを経て、NEC からカーブアウト（※編注）して現会社を創業。今講演では「因果 AI」とそれを活用した『意思決定』の事例をスクリーンに映し出しながら講演。

「因果 AI」は最近よく耳にする生成 AI とは違う分野で、「データの中の因果関係を分析する AI を搭載した、コーサル・アナリシス（causal analysis）というサービスを提供する」もので「これまで複雑なデータ解析を数週間から数カ月かけていたものを、自ら操作して 1 分で可視化することができるようになった」という。また「可視化した図面によって『効果的な方針』が把握でき、アイデア出しに集中できるため『意思決定時』の説得力や納得感を高めた提案ができる」という。さらに「因果 AI」が提示する因果関係を把握し、『真の要因を特定』することで次の効果的なアクションへ導くことができる」とその役割の重要性を伝え講演を終えた。



株式会社 hootfolio 笠原 CEO 講演会の様子

懇親会



駐名古屋大韓民国総領事館
金星秀総領事

場所を移動して懇親会会場へ。会場は鶴舞公園内の「FOODLAB.358 鶴舞 PARK」。

駐名古屋大韓民国総領事館金星秀総領事による乾杯の音頭が執り行われた。金総領事は総領事館での 3 年の任期を終えまもなく帰国



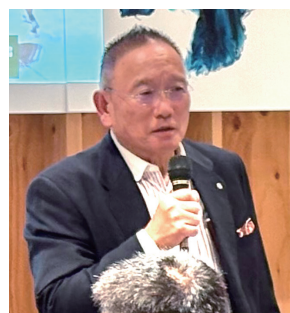
懇親会の様子



右手前 /STATION Ai 佐橋 CEO、右奥 / 名南 M&A 篠田社長、
左手前 / 月刊東海財界 塚本隆編集長

することを報告され、名古屋での在籍中の思い出などを穏やかな表情で語ったのち韓国語の乾杯「コンベ」を全員で唱和して和やかに懇親会が始まった。

懇親会では各テーブルで談笑したり、講演者の笠原氏に質問したりする様子が見られた。また情報交換や自己紹介して名刺交換したりと様々な交流が行われていた。



佑愛学園 丹羽司一理事長

最後は中締めの名南 M&A 株式会社の篠田社長から佑愛学園 丹羽司一理事長に締めのひと言をいただくことになった。丹羽理事長は「新しいことをやる時はスピード感を持って始めなければ

なりません」と本日のスタートアップの拠点、STATION Ai での講演内容に相応しいコメントと、力強い一本締めで会を締め括った。

今回の財界倶楽部は弊社と名南 M&A 株式会社の共同開催でした。ご参加いただいた皆様により御礼申し上げます。

（※編注：カーブアウト＝企業が自社の一部を切り出し、新会社として独立させる経営手法。新規事業を独立させて意思決定を迅速化することが目的）

..... SPECIAL THANKS



〈名南 M&A 株式会社スタッフ〉

左から順に――

代表取締役社長	篠田康人
事業戦略本部 事業戦略部 キャピタリスト	伊藤将規
経営管理部 広報担当	江城佑美
経営管理部 課長	長縄紘子
事業戦略本部 医療支援部 M&A アドバイザー	廣 圭輔
事業戦略本部 事業戦略部 キャピタリスト	永田凌也